

入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）：教育学研究科

1. 人材育成目的

教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）は、学校教育に関する「理論と実践の融合」の理想を掲げ、これからの学校教育をリードする専門的力量を備えた管理職及びミドルリーダー教員を養成するとともに、新しい学校づくりの有力な担い手となる新人教員の養成を目的としています。

2. 入学者に求める資質

（1）学卒院生

①知識・技能・理解

- （i）総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている人
- （ii）学校教育及び子どもに関する基礎的な知識を身につけている人
- （iii）取得する教員免許状に係る指導内容及び指導法に関する基礎的な知識を身につけている人
- （iv）専攻する学問分野の専門的知識を身につけている人
- （v）学習指導及び生活指導等のための基礎的な技能を身につけている人

②思考力・判断力・表現力

- （i）学校教育に関する総合的な基礎的知識と実践的な体験を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている人
- （ii）専攻する学問分野の探究的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている人
- （iii）ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる人

③関心・意欲

- （i）学校教育の現状や課題に強い関心を持ち、学校教育の発展に貢献しようとする意欲を持っている人

④主体性・協働性

- （i）学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている人

（2）現職院生

①知識・技能・理解

- （i）総合的思考力を養うために幅広い視野と教養を身につけている人
- （ii）学校教育及び子どもに関する実践的な知識を身につけている人
- （iii）取得する教員免許状に係る指導内容及び指導法に関する実践的な知識を身につけている人
- （iv）専攻する学問分野の専門的知識を身につけている人
- （v）学習指導及び生活指導等のための実践的な技能を身につけている人

②思考力・判断力・表現力

- （i）学校教育に関する総合的な知識と実践を通して、学校教育について多面的かつ実践的に思考・判断する能力を身につけている人

(ii) 専攻する学問分野の探究的な活動を通して、課題分析力、論理的思考力及びものごとを創造的にアプローチする能力を身につけている人

(iii) ものごとを計画的に進め、その結果を整理して口頭や文章で的確に表現することができる人

③関心・意欲

(i) 学校教育現場が抱える諸問題とその解決に強い関心を有しており、将来的には管理職として学校運営のリーダーシップを発揮したり、ミドルリーダーとして学校の教育活動の中核的役割を果たそうとする強い意欲と資質を有する人

④主体性・協働性

(i) 学校教育に対する強い使命感と責任を自覚し、常に学び続けようとする態度を身につけている人

3. 入学前に修得しておくことを期待する内容

大学院において専門的な教育実践研究に従事していくため、専門分野に関する基礎的な知識を修得していること。

4. 入学者選抜の基本方針

(1) 一般入試

筆記試験では、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、口頭試問では、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。また、出願書類では、「知識・技能・理解」を評価します。

(2) 現職教員入試

口頭試問では、「知識・技能・理解」、「思考力・判断力・表現力」、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」を評価します。また、出願書類では、「知識・技能・理解」、「主体性・協働性」を評価します。

入学者選抜試験の検査方法と評価要素

該当入試区分	入学者選抜方法	知識・技能・理解	思考力・判断力・表現力	関心・意欲	主体性・協働性	備考
一般入試	筆記試験	○	○			
	口頭試問		○	○	○	
	出願書類	○				※1
現職教員入試	口頭試問	○	○	○	○	
	出願書類	○			○	※2

※1 一般入試は、「学修・研究の構想レポート」、「成績証明書」を提出。

※2 現職教員入試は、「学修・研究の構想レポート」、「教育活動・実践履歴書」を提出。